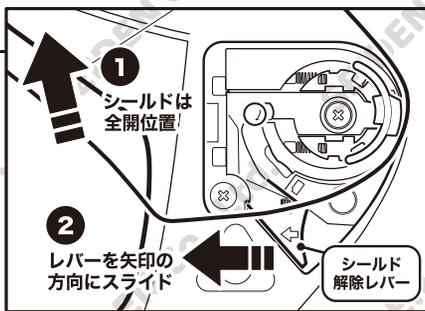


## LS2 ヘルメット シールド着脱手順

### ■ シールドの取り外し方

1 シールドを全開位置にします。

2 シールド解除レバーを矢印の方向にスライドさせるとシールドが外れます。

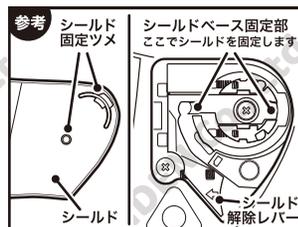
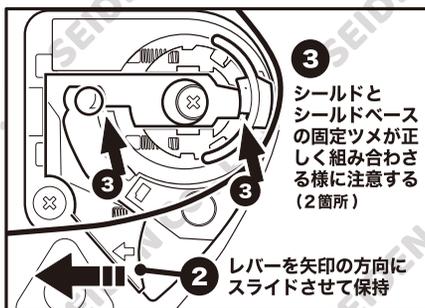


### ■ シールドの取り付け方

1 シールドを全開の角度で取り付け位置に合わせます。

2 シールド解除レバーを矢印の方向にスライドさせた状態で保持します。

3 シールドの2か所の固定ツメがそれぞれベースの固定部と組み合わせるにつつシールド解除レバーを戻します。

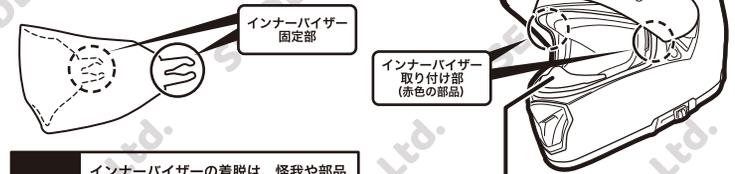


### 注意

取り付け後はシールドを数回開閉させ、正常に取り付けられていることを必ず確認して下さい。  
また、不十分な取り付け状態のまま無理に開閉すると破損の原因となる恐れがありますのでご注意ください。

## LS2 HELMETS インナーバイザー着脱手順

■ インナーバイザーは図の箇所に取り付けられています。



**注意** インナーバイザーの着脱は、怪我や部品の破損を避けるため無理な力をかけないようにゆっくり丁寧に行ってください。

■ 作業に干渉する場合はノーズディフレクターを一旦取り外します。

### ■ インナーバイザーの取り外し

1 インナーバイザーを下ろします。

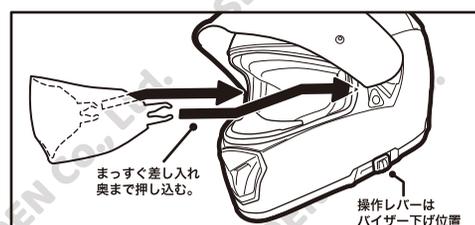
2 インナーバイザー固定部近くを前方に引き抜くようにすると、固定が外れます。[片方ずつ行います]

3 帽体との干渉を避けながらインナーバイザーを取り出します。



### ■ インナーバイザーの取り付け

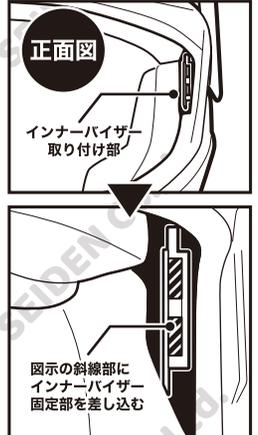
インナーバイザーの固定部をヘルメット内部のインナーバイザー取り付け部に差し込みます。[片方ずつ行います]



インナーバイザー取り付け部は、左側がインナーバイザー操作レバーと連動し、右側はフリーに上下します。取り付け時には向きに注意して下さい。取り付けは右側から行うとスムーズです。

### 注意

取り付け後はインナーバイザーを数回上下させ、干渉等が無く正常に動作する事を必ず確認のうえでヘルメットをご使用下さい。



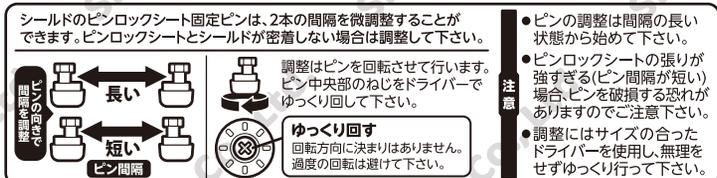
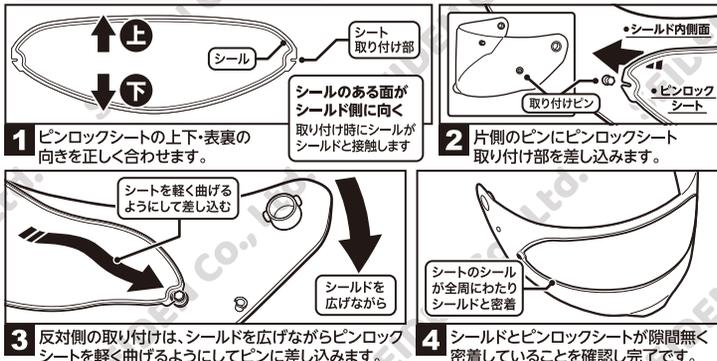
## ピンロックシートの着脱方法

### ピンロックシート着脱時の注意

- ピンロックシート表面、及びシールドのシート取り付け面には触れないで下さい。汚れや指紋が付着すると視界の妨げや曇りの原因となります。
- 破損の原因となりますのでシールドやピンロックシートを強く曲げないで下さい。

### ピンロックシートの取り付け

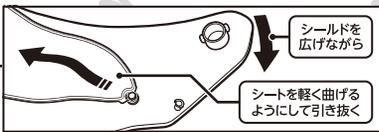
シールドをヘルメット本体から取り外して行います



### ピンロックシートの取り外し

シールドをヘルメット本体から取り外して行います

シールドを広げながらピンロックシートを軽く曲げるようにして、取り付け時と反対の手順で片側から取り外します。

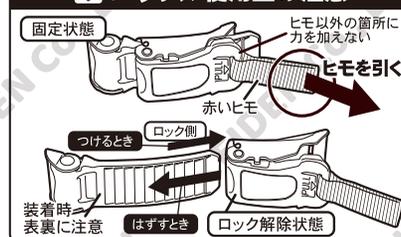


### 使用上の注意

- 低温・多湿状態での使用が長時間続くと曇りや視界のじみが発生する場合があります。
- ピンロックシートを通した視界は角度によって歪みの生じる場合があります。
- 乾燥は自然乾燥のみに行いドライヤー等の温風の利用や加熱は絶対にして下さい。
- ピンロックシートに傷や曇り止め機能の低下が生じた場合は新しいシートに交換して下さい。
- シールドとピンロックシートの間に曇りや水分の浸入等が生じた場合は、シールドとシートを分離し双方を完全に乾燥させ再度取り付けして下さい。
- ピンロックシートの装着状態を長期間継続するとシートがシールドに固着する場合がありますので定期的に脱着・お手入れを行ってください。
- ピンロックシートの洗浄は中性洗剤とぬるま湯で行い、シンナー・ベンジン・ガソリンやその他溶剤、アルコール類は絶対に使用しないで下さい。

## BREAKER/CHALLENGER F

### バックル使用上の注意



### つけるとき

- ・ヒモのねじれが無いようご注意ください。
- ・正しい向きでロック側に差し込み、長さを調整して下さい。

### はずすとき

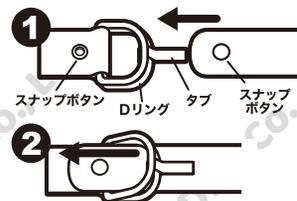
- ・赤いヒモを軽く引き、ロックを解除しながらベルト部分を引くと外れます。

ヒモ以外の部分に無理な力を加えた場合、部品の破損やピン脱落を生じる可能性がありますのでご注意ください。

## CHALLENGER C GT

### あごひもの着脱方法 必ず正しい着用をしてください

図示の通りにDリングに顎ひもを通します。



3 しっかり締める

スナップボタンを留める

締め付けを調整したら、ひも先端のばたつきを防ぐためスナップボタンを留めます。

外すときはスナップボタンを外し、タブを引くと顎ひもが緩みますのでDリングから顎ひもを抜きます。

BREAKER/CHALLENGER